

みずほCustomer Desk Report 2017/12/12号(As of 2017/12/11)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	113.65
TKY 9:00AM	113.57	1.1768	133.65	1.3393	0.7507
SYD-NY High	113.69	1.1811	133.88	1.3432	0.7546
SYD-NY Low	113.25	1.1761	133.54	1.3331	0.7503
NY 5:00 PM	113.56	1.1770	133.66	1.3337	0.7525
NY DOW	24,386.03	56.87	日本2年債	-0.1500	0.00bp
NASDAQ	6,875.08	35.00	日本10年債	0.0500	0.00bp
S&P	2,659.99	8.49	米国2年債	1.8210	2.45bp
日経平均	22,938.73	127.65	米国5年債	2.1592	1.85bp
TOPIX	1,813.34	9.61	米国10年債	2.3894	1.25bp
シゴ日経先物	22,960	60	独10年債	0.2915	▲1.45bp
ロンドンFT	7,453.48	59.52	英10年債	1.2020	▲7.50bp
DAX	13,123.65	▲30.05	豪10年債	2.5520	3.05bp
ハンセン指数	28,965.29	325.44	USDJPY 1M Vol	7.15	▲0.27%
上海総合	3,322.20	32.20	USDJPY 3M Vol	7.80	▲0.27%
NY金	1,246.90	▲1.50	USDJPY 6M Vol	8.28	▲0.30%
WTI	57.99	0.63	USDJPY 1M 25RR	-0.63	Yen Call Over
CRB指数	185.49	0.48	EURJPY 3M Vol	7.98	▲0.03%
ドルインデックス	93.93	0.03	EURJPY 6M Vol	8.40	▲0.15%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月11日	15:00	日 工作機械受注(前年比)	11月 46.9%	-
12月12日	0:00	米 JOLT求人	10月 5,996	6,135

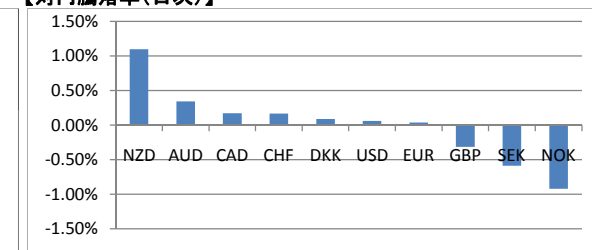
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月12日	8:50	日 国内企業物価指数(前月比/前年比)	11月 3.3%/0.2%	3.4%/0.3%
	18:30	英 CPK(前月比/前年比)	11月 0.2%/3.0%	0.1%/3.0%
	19:00	独 ZEW調査(現状/期待)	12月 88.7/18.0	88.8/18.7
	22:30	米 PPI最終需要(前月比/前年比)	11月 0.3%/2.9%	0.4%/2.8%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	113.00-113.80	1.1750-1.1800	133.00-134.00

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は113円台半ばを中心とした値動きに終始した。NYで自爆テロが発生したものの、容疑者が拘束され被害も限定的であったことから市場への影響は軽微であった。今週は米FOMC、ECBと注目イベントを控えており、本日については動意薄で113円台での推移をメインシナリオと考える。通貨オプション市場におけるボラティリティも各タームで年初来水準近辺まで低下するなど市場では様子見ムードが広がっている。但し、来年の金融政策に示唆を与える要人発言等次第では相場が動意づくこともリスクシナリオとして注意を払いたい。

東京	東京時間のドル円相場は113.57レベルでオープン。仲値にかけては実需勢のドル買いワロー等を背景にドル買い優勢の展開となり、一時113.69まで上昇。しかし、この水準から一段と上値を追う展開とはならず、その後は113.60を挟みでの動意に乏しい推移が継続。引けにかけてやや水準を下げ、113.55レベルで海外へ渡った。また、ニュージーランド政府がニュージーランド準備銀行の次期総裁に同国の年金基金スーパー・アキュムレーション・ファンドの責任者であるエトリアン・オ氏が指名されたことが伝わるとNZドルは大きく上昇する展開となった。対ドルで0.68台半ばを中心とした推移が続いた後、オ氏指名のニュースが伝わると0.69台まで急騰した。(東京 15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は様子見となった。113.55レベルでオープン。米長期金利の低下にドルの上値が抑えられていた中、NYでのテロが発生したことが伝わると一時113.25まで小緩んだ。しかし、被害が大きく広がらなかったこともあってか、市場への影響は限定的となった。その後は12-13日のFOMCでの政策金利や経済見通しの発表を控えていることから動意薄となり、113.28レベルでNYへ渡った。ボンドは下落した。1.3405レベルでオープン。大量なワローが出たためボンドが対ユーロで下落。この動きにつられボンドドルは安値1.3342を付けた。1.3363レベルでNYへ渡った。(00531 444 179 ロンドン・トルジャー 西海)
ニューヨーク	今週はFOMC、ECB、BOE理事会と重要なイベントを控える中、早朝にNYでテロによる爆発が起こったことから113.25まで下落したドル円は、113.28レベルでNYオープン。朝方は自爆テロが発生するも、容疑者が拘束されたことからドル円は下げ渋り、株式市場も堅調にスタートしたこともあり113.44まで戻す。その後113.28まで下押しするが、米財務省が上院で可決された減税案が実現すれば、今後10年で1.8兆ドルの追加の税収になるとの見方を示したこともあり、底堅い推移が続く。午後に入り、低下していた米金利が切り返す展開に、ドル円は113.58まで戻し、113.56レベルでクロスした。一方、ユーロドルは、ユーロ円の買いや、ユーロ・ボンドが上昇する動きをサポートされ1.1794レベルでNYオープン。朝方はテロ容疑者が拘束されたこと等からユーロ円が買い戻される展開となり、ユーロドルも連れて1.1811まで戻す。しかし水曜にFOMC、木曜にECB理事会を控え、積極的なポジションはとりづらく、その後は狭いレンジでの推移が続く。午後は米金利上昇に伴うドル買いに、ユーロドルは上値を切り下げ、1.1764まで反落し、1.1770レベルでクロスした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:坂本・森谷